

ひと 2014

小樽運河の早朝清掃に取り組む

湯谷 拓朗さん

寒風が吹く早朝の小樽運河。毎週土曜日、小樽市内の若者たちと胴付き長靴姿で水の中に入り、清掃に励む。「運河クリーンプロジェクト」と呼ばれる活動だ。清掃を始めたのは江別市在住の会社員だった2011年6月。通っていた札幌の経営者塾で「大学時代に暮らした小樽へ恩返しするため、運河をきれいにする」と宣言したのがきっかけだった。

小樽市内の知人の宿泊施設に泊まり、札幌への出勤前、毎日午前4時半からゴミを拾った。回収したのはペットボトルや空き缶、ビニール傘など。「いくら拾ってもなくならない。観光の街なのに恥ずかしかった」。当初1カ月の予定だったが、その後も週1回、清掃

を続けることにした。次第に同年代の仲間が増え、現在の参加者は約20人。時には留学生や中高年の市民も加わる。散歩中の人が「頑張つて」と声をかけてくれたり、コーヒーを差し入れてくれたりすることもある。

仕事の関係で昨年7月に小樽に転居してからはさらに活動も本格化。11月には地道な努力が評価され、プロジェクトが小樽市の都市景観賞を受賞した。「僕はあくまできっかけをつくっただけ。みんなが主体的に動いてくれたおかげです」

参加する学生が24時間耐久ごみ拾いに挑戦するなど、活動の広がりも出てきた。「運河清掃はまちづくり。もっと市民に身近に感じてほしい」。27歳。

(竹中達哉)



※湯谷氏は本学OB